



# 山梨県流通センターニュース

編集・発行 協同組合山梨県流通センター（中央市山之神流通団地2-6-1）  
TEL (055) 273-4711 FAX (055) 273-4713



1等バリ島旅行ほか豪華賞品を揃えた大ビンゴ大会



チャリティーバザーブースで、商品に群がる人たち

買い物客で  
大にぎわいの  
物販コーナー



開館前、センターでバザーオープン瞬間

## 開始前から長蛇の列

### 17回 センターでバザー大にぎわい

今年で第17回を迎えた「センターでバザー」が9月3日（土）午前9時に流通会館、流通会館前駐車場、流通会館東側道路を会場として開かれた。

第1回「センターでバザー」は、平成12年11月11日、「流通センターのPR」、「消費者への利益還元」、「地域住民との交流」、「団地の一体性」、「組合員従業員の交流」をコンセプトに開かれた。以来、イベントとして地域にしっかり定着し、毎年、開催を楽しみにしている人も数多い。

イベント告知はポスター配布や新聞チラシ、新聞広告のほか、前日にはテレビやラジオの生中継番組を通してPRしたため、午前9時前には長蛇の列ができ、今年は5分前の開場となった。

会館内の物販コーナーには、21社が出店し、衣料品、靴、バッグ、傘などの身の回り品から、お菓子、パン、ゼリーなどの食料品まで幅広い商品が並べられていたが、用意した商品を早々と売りつくしてしまう組合員もあり、大盛況となった。

また、会館前駐車場には約20店舗の飲食店等が出店し、流通会館東側道路には働く車として、パトカー、消防車、救急車、白バイ、クレーン車が並べられ、子どもたちがお気に入りの車に乗せてもらい、大はしゃぎの様子も見られた。道路を隔てた空き地には約30店舗のフリーマーケットも軒を並べた。

イベント会場では、輪投げ大会、スリッパ飛ばし大会、○×クイズ、チラシ持参抽選会、ビンゴ大会が行われた。特にビンゴ大会では1等賞品にバリ島旅行が用意され、昨年以上の盛り上がりを見せた。

毎年、売上金を全額「赤い羽根共同募金」へ寄付しているバザーブース（企業・従業員提供）は、お買い得の商品を求める人で開場早々からごった返し、全商品が完売となった。バザーブースの売上112,839円は、山梨県共同募金会へ贈呈された。多くの方からご協力をいただきありがとうございます。

来年も、地域の方々に楽しんでいただけるようなイベントであり続けるよう努力したい。

# 2015年センターでバザールビンゴ大会賞品

## Guam旅行寄稿文 ～Guam島で3泊4日ゆっくり～



Guamの海を背に大喜びの当選者

この度、「センターでバザール」でのビンゴ大会にて、Guam 3日間ペアチケットをいただきまして、誠にありがとうございました。結婚して3年目に入りますが、新婚旅行も行けていなかったもので、1泊分を追加し、3泊4日でのとてもゆっくりしたGuamの旅と

なりました。

念願だった野生のイルカウォッチングや、無人島でのバカンス、南国の海の青さには本当に感動しました。シュノーケリングでは、色とりどりの小さなお魚を見ることができて、初めてづくしに、すべてが楽しい時間でした。

夜はディナー付きのファイヤーダンスのショーを見たり、ホテルの近くのオープンピアガーデンなどに行ったりと、朝から夜まで満喫！満足！お天気にも恵まれた4日間で、また機会があればぜひ行ってみたい海外の一つとなりました。

トウワ観光のスタッフの皆様にも、丁寧に対応していただき、スムーズに滞りなく旅行を終えることができました。ありがとうございました。

流通センターで今後も、楽しい企画でたくさんの皆様に喜んでもらえるよう、ご繁栄をお祈りします。この度は、ありがとうございました。

以上でご報告とさせていただきます。

## 提出議案全て承認・可決

### 第44回 通常総会 組合発展のための施策決まる

第44回通常総会は、5月26日（木）流通会館大会議室で開かれ、組合員59人（委任状出席含む）が出席。平成27年度の事業報告、収支決算、平成28年度事業計画、収支予算案などの提出議案は全て承認、可決された。

27年度の事業報告では、第1に新たなる団地の再整備として組合諸施設の老朽化に伴う検討を行う未来検討特別委員会を設置し、組合の将来像の討議を開始した。

第2に収益力の強化と財務基盤の充実として、省エネ設備の導入や会館利用の増加等により組合債務の圧縮は、順調に進んだ。第3に組合組織の活性化推進として、各種事業を実施し、組合員間の連携を深めた。第4に組合諸施設の整備・補修として、中央市への下水道施設の移管という長年の懸案事項に終止符を打ち、街路灯のLED化工事等の整備も進んだ。第5に組合諸規則の全面的な改定を行った。

28年度事業計画は、27年度で実施した事業を中心に、よりよいものに発展するための施策を進めるために、未来検討特別委員会においては、他団地の視察の実施、



第44回通常総会であいさつする栗山理事長

安全・安心対策としてはBCP対策などを実施する。また、組合諸施設の修繕は計画的に進めていく。

通常総会の決議事項に沿って、今年度の事業が執行部により進められていく。

## 進む街路灯のLED化

### 19箇所は、既に改修済み

3月から4月にかけて団地内一部街路灯（19箇所）についてLED化・改修工事が行われ、団地内環境が整備された。引き続き団地全域のLED化を進めていく。





# 熱気に包まれ、にぎやかに交流

## 納涼会 63人が出席、懇親深める



甲府富士屋ホテルで開かれた納涼懇親会

平成28年度の納涼懇親会が7月22日（金）午後6時30分から甲府富士屋ホテルで開かれた。今年度も多くの来賓を招き、組合員、準組合員、来賓、事務局含めて63人が出席し、7月下旬にしては肌寒い陽気ではあったが、会場は熱気に包まれ、終始にぎやかな会となった。

今年のテーブル名は夏の花とし、「アサガオ」ほか8点を選択した。

開会に当たり栗山理事長があいさつし、次に来賓を代表して平井敏男山梨県産業労働部長と田中久雄中央市長よりご祝辞をいただいた。その後乾杯の発声を商工組合中央金庫住本佳史甲府支店長にいただき、出席者たちは和やかに談笑しながら懇親を深めた。

# それぞれの取り組みを紹介、検討

## LoMAの会 沼津、静岡、浜松団地の青年部と交流

第4回山梨県・静岡県卸地青年部情報交換会が、7月9日（土）静岡県で開かれた。

今回は（協）沼津卸商社センター金曜会が幹事組合となり、（協）静岡流通センター青年部会、（協）浜松卸商センター翔友会、（協）山梨県流通センターLoMAの会の4団地から25人が参加。当団地からは井上雅博会長ほか5人が出席した。

まず初めに、各団地は、団地の現状や取り組み、青年部の活動等について発表があり、それに基づき意見交換が行われた。

各団地の発表内容

### 1、（協）静岡流通センター 青年部会

・昨年と同じく月例会、流通センター夏祭りの運営、麻機遊水地のPR活動を行っている。

新しい活動として静岡市企業団体青年部連合会が主催するセミナーへの参加やコンビニの運営（団地内の障害者団体へ運営を委託）がある。

### 2、（協）浜松卸商センター 翔友会

・平成27年度は「自己研鑽委員会」で若手経営者の為に経営戦略についての講習を5回開催し、「ブランド委員会」では浜松卸団地についての議論をした。今年も例年通り、「自己研鑽委員会」「ブランド委員会」の例会を企画している。

### 3、（協）沼津卸商社センター 金曜会

・平成27年度は年6回例会を開催した。「LoMAの会」のパワーディナー（勉強会）を参考に会員が興味を持ちそうな勉強会を企画した。

また、毎年6月にゴルフ研修会を企画していたがゴルフ参加者が減少しているため、昨年からゴルフ研修会を会員の興味がある催しに変更し、例会への参加者を増やすようにしている。

### 4、（協）山梨県流通センター LoMAの会

・平成27年度は講師を招いたパワーディナー（勉強会）や懇親会、社員交流会の運営などを行った。パワーディナーは、会員が興味を持つような企業経営等の内容で企画をしているため、多くの人が参加している。

・毎年12月に開催している社員交流会（昨年参加者157人）は、LoMAの会が主体となって企画・運営を進めていくので、それに向けて準備している。



意見を交換し合う青年部員たち

# 「いざ」に間に合うことを確認

## アルファ米非常食を使った炊き出し訓練



非常食を使った炊き出し訓練が6月7日（火）に流通会館で開かれ、7社から15人が参加した。

この訓練は東日本大震災から5年が経過し、徐々に震災の惨禍が薄れかけていたところへ、マグニチュード7.3の熊本地震が発生し、多くの家屋が倒壊するのをテレビで目の当たりにしたのを受け、組合員企業の従業員に防災意識を高めてもらうのが目

的で開かれた。

炊き出し訓練はアルファ米非常食を使い、袋を開けて、熱湯を注ぎ15分待つうちに炊き上げた。試食された参加者の感想はそれぞれであったが、非常時には大いに役立つ食品であることを確認。アルファ米のほかに、缶詰のパンや、カップ味噌汁、保存水なども用意され、参加者たちに味わっていただいた。

参加者たちにとっては改めて防災意識を見つめ直し、高めていただくきっかけとなったようだ。いざという時も慌てずに行動しよう。



## 3人が参加して腕みがく

### フォークリフト運転技能講習会



組合の認定職業訓練コースとして人気のフォークリフト運転技能講習会が、6月18（土）、19（日）、25（土）、26（日）の4日間、湯村自動車学校で開かれ、3社から3人が参加した。

今年度は11月にも講習会を予定しているので多くの方に受講いただきたい。

## 健康診断692人が受診

### 献血には27人が協力

7月19日（火）～28日（木）までの8日間、流通センターで健康診断が実施され、43社から692人が受診した。オプション検査としてPSA（前立腺がん）検査、ピロリ菌検査、腫瘍マーカー検査を導入しており、3検査合計152人の受診があった。

また7月19日には献血が実施され、27人にご協力をいただいた。お暑いなかご協力をいただき、ありがとうございました。

受付者数	27人
献血者数	22人
200ml	0人
400ml	22人
不採血者数	5人





# サン宝石優勝

## ボウリング大会 個人戦、伊藤ひとみさんが1位

第20回流通センターボウリング大会が甲斐市の大統スターレーン双葉で行われた。今年も、6月14日、22日、29日、7月8日まで東西南北のブロック予選大会、7月12日には決勝大会が行われた。

今年の参加人数は22社から261人で昨年度より若干減少したが、7月12日の決勝大会は4ブロックから24チームが参加し、優勝チームが注目された。

試合の結果、団体の部では(株)サン宝石が優勝し、2位は甲信食糧(株)B、3位はマコト医科精機(株)Aとなった。1位と2位の得点差はわずか3点という白熱した大会となった。

個人の部は、伊藤ひとみさん(株)サン

宝石が2ゲームトータル341で優勝した。

また、第20回の記念大会とし、20位の方には特別賞が贈呈された。



優勝した(株)サン宝石チーム



準優勝した甲信食糧(株)Bチーム

### 団体の部 (2ゲームトータル)

※敬称略

順位	会社名	メンバー	スコア
優勝	(株)サン宝石	浅利、池田、伊藤、河西	1,231
準優勝	甲信食糧(株)B	中込、秋山、廣瀬、野田	1,228
3位	マコト医科精機(株)A	飯島、坂本、伊藤、加賀美	1,191

### 個人の部 (2ゲームトータル)

順位	氏名	会社名	スコア
優勝	伊藤ひとみ	(株)サン宝石	341
準優勝	村松徳仁	C I H (株)	335
3位	保坂七瀬	(株)システムインナカゴミ	335



個人の部優勝の伊藤ひとみさん

# ディズニーシーへ日帰りツアー

## 41人、それぞれの思い出胸に帰る



組合の初めての試みとして組合員、準組合員及び従業員とご家族を対象にしたディズニーシー日帰りバスツアーを6月25日(土)に実施した。参加者は8社から41人、にぎやかなツアーとなった。

この日は梅雨の時期にもかかわらず、曇天ながら暑くなく、広い会場内を歩きクタクタになる人もあったが、それぞれに楽しい思い出になったようだ。

来年度も今年度同様の企画を計画しているため、今回参加できなかった方は次回ご参加ください。

## 組合員の加入

山梨食糧(株)の跡に、(有)宮田倉庫が入居しました。

代表取締役 望月郁子

## 組合員・準組合員の異動

組合員・準組合員名	変更前	変更後
(株)オオキ	社長 大木 勝志	社長 大木 賢太郎
(株)戸田酒販	社長 戸田 和夫	社長 戸田 麻理
山梨菅公学生服(株)	所長 越 剛宏	営業部長 森川 明広

## 『事務局日誌』

### ～6、7、8月の主な会議等～

- ◆6月 2日 県中小企業団体中央会総会
- 6日 県火災共済総代会
- 7日 炊き出し訓練
- 7日 正副理事長会議
- 9日 生活改善委員会
- 13日 リサイクル・一斉清掃日
- 14日 ボウリング大会西・南B予選
- 15日 センターでバザール「出店者会議」
- 16日 N T Tユーザー協会総会
- 17日 県火災共済代理所会議
- 17日 L o M A の会定例会
- 18～19日 フォークリフト運転技能講習会
- 20日 組合BCP事業開始
- 22日 ボウリング大会北1B予選
- 22日 未来検討特別委員会
- 22日 商団連総会
- 25日 東京ディズニーシーバスツアー
- 25～26日 フォークリフト運転技能講習会
- 29日 ボウリング大会東B予選
- ◆7月 1日 若手事務局長・事務局長候補会議
- 5日 正副理事長会議
- 7日 生活改善委員会
- 7日 東ブロック懇談会
- 8日 ボウリング大会北2B予選
- 9～10日 山梨県・静岡県卸団地青年部情報交換会・交流会
- 12日 ボウリング大会決勝大会
- 12日 リサイクル・一斉清掃日
- 13日 廃蛍光管収集・一括処分
- 14～15日 関東甲信越卸商業団地連絡協議会幹事会
- 15日 南ブロック懇談会
- 19～28日 集団定期健康診断
- 20日 組合BCP事業(2回目)
- 22日 納涼懇親会(於甲府富士屋ホテル)
- 25日 県労務改善団体連合会総会
- 25日 企業防衛対策協議会
- 28日 県雇用安定センター会議
- ◆8月 2日 正副理事長会議
- 4日 生活改善委員会
- 9日 組合BCP事業(3回目)
- 10日 リサイクル・一斉清掃
- 19日 L o M A の会定例会
- 26日 北ブロック懇談会

## かいがね

先日のことだ。甲府での用事を済ませたの帰り、電車に乗ると結構空いていて見ればボックス席に見覚えのある女性がいる。うつむき加減にスマホをいじっていて近づいた私に気付かない。半年ぶりくらいだろうか、「やあ、久しぶり」と声をかけると顔を挙げて、私だとわかると頬に笑みを浮かべて前の席を示し「すわって」と言う。

歳は20代後半で、今は甲府の病院でレントゲン技師として働いているのだが、もう十数年来の知り合いだ。以前この欄に書いたことがあるが、私は40代の初め頃からだいぶ長い間子供クラブの指導員をしていて、それで彼女が小学生の時から知り合いという訳だ。

何故か気が合って、子供クラブを卒業して高校生になってからも時々顔を合わせると学校や友達のこと、将来の希望などいろんなことを話してくれた。あるとき、朝のウォーキングで高校への登校途中の彼女に会うと、「おじさん、朝ご飯食べた？」と言う。「いや、まだだ」と答えるとカバンから袋を取り出し「これ、私が作ったカボチャケーキ、食べる？おいしいよ」などと言って御馳走してくれたりするそんな可愛げなところもあった。また、ある年の地区の成人式、私は役員として出席したのだが、何人かの着飾った成人の中に目を引く女性がいる。しかし果たして誰なのか分らない。いずれにしろ彼らは子供クラブの指導員だった頃の私を知っているはずなので私の方から「君、誰だったかな？」と聞くと、「おじさん、何言ってるの。私だよ私、」。中高校生の頃はメガネをかけていたがその日はメガネはなく、まして2年ぶりくらいだったので、振袖に化粧をして美しくならなくなった彼女を見違えてしまったのだ。

そんな彼女と偶然乗り合わせたのだが、あの頃からはすっかり大人の女性になって今は面と向かうのがまぶしくさえある。前の席に腰かけると、「おじさん元気？」と言うので「ああ、元気だ。どうだ仕事は、彼は出来たか？」と挨拶代わりの軽い気持ちで言葉を返した。すると案に相違して「うん、お付き合いをしている人はいる。まだ、始まったばかりだけどとても良さそうなん」。驚きを抑えつつ「へえ、ホントか。どれ写真は持ってるのか？」と聞くと「ほら、これ」と言って、スマホの画面を私に向けた。「ほお、イケメンじゃないか」「でしょ。友達で行ったパーティーで知り合ったの」と、自慢げに微笑む。その時、私はそうした彼女を喜びはしたものの、それだけではない何となくチョット寂しいような気分も生じた。自分の娘が相手を家に連れてきた時も素直に喜べない自分がいたが、その時と似ているかもしれない。確かに、若い2人の交際が進んでゴールインとなれば心から祝福できるだろうが、話を聞いた時はその妙な気分もあって祝いの言葉を探すこともできなかった。

今、あれから少し時間が過ぎて、彼女と知り合っただけのことを思い出しながら、もし彼女の花嫁姿を見ることができたら、その時はどんな気分になるのだろうかと思ったりしている。(M)